

NACSIS-CAT/ILL

ニュースレター

Contents

- | | |
|---|---|
| 1. これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について | 2 |
| 2. ERDB-JP(国内刊行電子リソースのナレッジベース)のパートナー範囲の拡大 | 2 |
| 3. 業務分析システムのリリースと平成27年度分の公開 | 3 |
| 4. 参加館情報管理システムのリリースと機能変更 | 4 |
| 5. 目録所在情報サービスのサービス時間変更(訂正) | 5 |

(NACSIS-CAT)

- | | |
|--------------------|---|
| 6. 参照ファイルの追加(フランス) | 6 |
| 7. NIIでの目録品質管理(11) | 7 |

(NACSIS-ILL)

- | | |
|--|---|
| 8. ILL文献複写等料金相殺サービス処理報告
(平成27年度第4四半期、平成28年度第1四半期) | 9 |
|--|---|

(教育研修事業)

- | | |
|-------------------|----|
| 9. 研修申込システムのリプレース | 10 |
|-------------------|----|



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構

国立情報学研究所

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号

学術コンテンツ課

NACSIS-CAT 担当…………… Tel:03-4212-2310 Fax:03-4212-2375

NACSIS-ILL 担当…………… Tel:03-4212-2320 Fax: 同上

学術基盤課

教育研修事業担当 …… Tel:03-4212-2177 Fax:03-4212-2375

システム管理担当 …… Tel:03-4212-2220 Fax:03-4212-2230

URL:<http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/>

これからの学術情報システム構築検討委員会の活動について

これからの学術情報システム構築検討委員会では、平成28年2月23日に開催した第11回国立情報学研究所と大学図書館との連携・協力推進会議（以下、推進会議）にて方向性が承認されました。「NACSIS-CAT/ILLの再構築について（案）」及び「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（基本方針）（案）」に関して、参加館のみなさまを中心に意見募集を実施いたしました。

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/korekara/>

実施結果を元に「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（基本方針）（案）」について第14回委員会（平成28年6月29日開催）で再検討と修正案の作成を行い、その後、第12回推進会議（平成28年7月7日開催）で修正案が承認されました。確定版の「NACSIS-CAT/ILLの軽量化・合理化について（基本方針）」については以下よりご覧ください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/content/korekara/archive/>

現在は委員会の下に設置されたNACSIS-CAT検討作業部会を中心に、詳細案の検討を進めております。検討状況は委員会Webサイトのほか、各種イベント等でご報告し、みなさまからのご意見をいただいております。

■終了イベント（資料・動画公開あり）

- ・ NII学術情報基盤オープンフォーラム2016「2020年のNACSIS-CAT/ILL」
http://www.nii.ac.jp/csi/openforum2016/track/day2_2.html#period2

■予定イベント

- ・ 第18回図書館総合展
11月9日（水）10:00～11:30「NACSIS-CAT/ILLと電子リソース：2020年の学術情報システム」

(CiNii/新CAT担当)

ERDB-JP(国内刊行電子リソースのナレッジベース)の

パートナー範囲の拡大

平成27年6月11日よりERDB-JP（国内刊行電子リソースのナレッジベース※）のデータ作成機関＝パートナーを募集していますが、第14回これからの学術情報システム構築検討委員会

での審議を経て、パートナーの対象範囲が以下のとおり拡大しました。今後は出版社、ナレッジベースベンダーも含めた連携が進んでまいりますので、ぜひ参加をご検討ください。

※ ナレッジベースとは、電子ブック・電子ジャーナル等の電子リソースについて、タイトル単位のアクセス情報を管理するデータベースです。

■従来のパートナー範囲

大学、短期大学、高等専門学校、大学共同利用機関、文部科学省・文化庁の施設等機関

■現在のパートナー範囲

ERDB-JP のデータを責任を持って登録・更新・削除等のメンテナンスをしていただける学術資料に関連する機関・組織の内、電子リソースデータ共有作業部会が適当と認めた機関・組織

URL : https://erdb-jp.nii.ac.jp/ja/content/whats_partners

平成 28 年 9 月 1 日現在のパートナーは以下のとおりです。

■パートナーA (32 機関：国 19, 公 1, 私 7, 共 3, 他 2) ※機関名五十音順

青山学院大学, 秋田大学, 大阪教育大学, 大阪市立大学, 岡山大学, お茶の水女子大学, 帯広畜産大学, 鹿児島大学, 金沢大学, 九州大学, 京都大学, 慶應義塾大学, 神戸松蔭女子学院大学, 国際農林水産業研究センター, 国立極地研究所, 国立情報学研究所, 国立民族学博物館, 島根大学, 西南学院大学, 千葉大学, 筑波大学, 電気通信大学, 東京海洋大学, 東京学芸大学, 富山大学, 農林水産研究情報総合センター, 一橋大学, 広島大学, 佛教大学, 北海道大学, 立命館大学, 早稲田大学

■パートナーB (8 機関：国 2, 私 5, 他 1) ※機関名五十音順

関西大学, 京都精華大学, 京都第二赤十字病院, 甲南大学, 同志社大学, 同志社女子大学, 名古屋工業大学, 室蘭工業大学

(CiNii/新 CAT 担当)

業務分析システムのリリースと平成 27 年度分の公開

平成 28 年 4 月 4 日付で新たに業務分析システムをリリースし、同時に平成 26 年度分の業務分析データを公開しました。従来は業務分析ファイル作成後に参加館に通知し、ご要望のあった機関にはメールの添付ファイルとして提供してまいりましたが、今後はシステムに直接サインインしていただき、随時取得が可能になります。以下の URL にアクセスし、「目録所在情報サービス担当者登録書」に記載された利用番号 (A+5 桁の数字) とパスワードでサインインしてご利用ください。目録所在情報サービスから脱退した場合は、脱退日から 1 年以内は業務分析データにアクセス可能です。

URL : <https://catill-q.nii.ac.jp/>

なお、7月22日付で平成27年度分の業務分析データも公開しております。データの詳しい見方や平成25年度分以前のデータの取得方法は以下のURLをご参照ください。

URL : <http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/bunseki2015.html>

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

参加館情報管理システムのリリースと機能変更

1. リリースについて

NACSIS-CAT/ILL ニュースレター42号でご案内しましたとおり、平成28年4月4日付でNACSIS-CAT/ILL 参加館情報およびILL 文献複写等料金相殺サービスの参加館情報のWeb申請システム(以下、参加館情報管理システム)をリリースしました。

URL : <https://catill-u.nii.ac.jp/>

参加館情報管理システムでは以下の申請等がWebから可能になります。

- ・ NACSIS-CAT/ILL 参加館情報 (参加組織名称・規模種別等) の変更申請
- ・ NACSIS-CAT/ILL の取消申請
- ・ NACSIS-CAT/ILL 利用番号の追加・変更・取消
- ・ NACSIS-CAT/ILL 配置コードの追加・変更・取消
- ・ ILL 文献複写等料金相殺サービスの利用組織の追加申請
- ・ ILL 文献複写等料金相殺サービスの登録情報 (連絡責任者・経理責任者・振込先金融機関等) の変更申請
- ・ ILL 文献複写等料金相殺サービスの取消申請
- ・ 月次個別データの確認・ダウンロード

2. 機能変更について

■各種承認書及び担当者登録書のWeb取得開始

平成28年8月以降、従来紙媒体で郵送していた以下の3点は、Webサービスから取得可能になりました。取得方法は、承認時にお送りしているメール本文内に記載されています。

- ・ 目録所在情報サービスの新規利用申請の「利用承認書」
- ・ ILL 料金相殺サービスの新規利用申請の「利用承認書」
- ・ 担当者登録届の新規申請の「担当者登録書」

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

目録所在情報サービスのサービス時間変更 (訂正)

NACSIS-CAT/ILL ニュースレター38号でご案内した目録所在情報サービス (NACSIS-CAT/ILL) のサービス時間に一部誤りがございましたので、以下のとおり訂正いたします。

検索専用

誤：月末 上記の内 20:00 ～ 22:00 は休止

正：月末 上記の内 20:00 ～ 24:00 は休止

(NACSIS-CAT/ILL 担当)

参照ファイル追加 (フランス)

平成 28 年 6 月 28 日より、NACSIS-CAT の外部参照ファイルとして、フランス ((Bibliothèque nationale de France)) を追加しました。利用可能な参照ファイル・データベース名は次のとおりです。

フランス

参照ファイル・データベース名 (図書) : BNFBKS

参照ファイル・データベース名 (雑誌) : BNFSER

NCID プリフィックス (図書) : BNFBKS

NCID プリフィックス (雑誌) : BNFSER

内容 : 図書・雑誌目録のデータ

なお、ガイドラインにも記載がありますが、以下の点に特に留意してご利用ください。

- ・ システムに過度の負担がかかるため、ヒット件数が大量となる検索 (普通名詞 1 語による検索等) はあらかじめ避けてください。
- ・ 多数ヒットする語(フランス語でよく用いられる語)で検索をすると、以下のエラーが出力されます。

エラーコード	-39002
意味	Temporary system error (一時的なシステム・エラー)
発生条件	Revolution, une, trois, bon などの語を検索語に含む

エラーコード	-39012
意味	Too many records retrieved (受信されたレコードが多すぎる)
発生条件	Catalogue, histoire, francaise , Paris などの語を検索語に含む

上記のエラーが出た場合、多数ヒットすると思われる語を検索語から削除して再検索する、という方法で回避をお願いいたします。

URL : http://www.nii.ac.jp/CAT-ILL/about/infocat/z3950/z3950_bnf.html

(NACSIS-CAT 担当)

NIIでの目録品質管理(11)

目録品質管理の実際を紹介する第11回は、NACSIS-CATでの雑誌関係の事項についてご紹介します。

1) 所蔵があつての書誌レコード

NACSIS-CATは「目録所在情報サービス」です。『目録情報の基準』2.7.2に所蔵リンクについて、「総合目録の本来の機能である所在情報サービスに相当する」とあり、書誌レコード作成の際は必ず所蔵登録を行います。意外に（当たり前すぎて）このことはコーディングマニュアルのどこにも書かれていませんので、初任者は注意しなければなりません。

雑誌の場合の所蔵レコードは、何年の何巻何号を所蔵しているかが分かるように記述します。また、書誌レコードの巻次・年月次 VLYR（または、記述根拠号の注記 NOTE）が採用している形式と同じ巻号形式の表示で所蔵レコードを記述することに気をつけましょう。

例えば、VLYR:1巻1号(昭36.1) = 通巻1号(昭36.1)であれば、所蔵レコードの所蔵巻次 HLV は、その雑誌に表示されている巻と号のアラビア数字を「巻(号)」の形式で記述します。また、HLYR は所蔵年次（出版年ではなく年次）を、西暦4桁の数字で記述します。この例で、1巻1号(昭36.1)のみ所蔵している場合は、HLV と HLYR は次のようになります。

HLV:1(1)

HLYR:1961-1961

参考：コーディングマニュアル 17.2.1 HLYR, 17.2.2 HLV

2) 複製資料間のタイトル変遷マップは作成しない

雑誌はタイトルが変遷することがあります。タイトル変遷の判断基準は、和雑誌はコーディングマニュアル 6.0.1、洋雑誌は 7.0.1 にありますが、この箇所に複製資料の場合についての説明はありません。複製資料については 6.0.2 および 7.0.2 の各 C16 (変遷ファミリーID, FID, 変遷注記 BHNT) の項目に、「複製資料間のタイトル変遷に関する事項は、ここに記録しない。原本のタイトル変遷関係は、NOTE フィールドに記録する。」とあり、復刻版や Reprint の変遷マップは作成しないことになっているのが分かります。

変遷マップは逐次刊行される原本に関してのみ作成します。原本の書誌レコードがなく、複製資料の書誌レコードのみの場合でも変遷マップは作成しません。

3) 原本が合冊されている場合は複製資料ではない

原本が合冊製本された形で頒布される場合がありますが、これは複製資料に該当するのでしょうか？コーディングマニュアル 6.0.2A, 7.0.2A によると、「写真複製、電子的複写などの方法で原本を忠実に再現させた」ものが複製資料ですので、合冊されたものを入手した際、中が原本か複製資料かを判断します。

しかし、実際には原本か、忠実に再現された複製なのか判明しにくい場合があるかと思ひ

ます。そのような場合は、品質管理室でもお送りいただいた情報源のコピーではまったく判断が付きません。コーディングマニュアル 6.1.10 複製コード REPRO の 6.1.10E4 をよりどころに、「目録対象資料が複製物であるかどうか判明しない場合は、当該資料は複製物ではない」とみなしていただいて構いません。

(NACSIS-CAT 担当)

ILL 文献複写等料金相殺サービス処理報告

(平成 27 年度第 4 四半期, 平成 28 年度第 1 四半期)

ILL 文献複写等料金相殺サービスの処理状況は、以下のとおりです。

■ 平成 27 年度第 4 四半期 (平成 28 年 1 月～3 月)

- ・利用機関数：911
- ・処理対象 ILL レコード件数：129,407 (NACSIS-ILL 総レコード件数：141,036)

		対債務機関	対債権機関
機関数		505	406*
NII の請求額/支払額		15,042,831	▲14,981,940*
内 訳	相殺金額	15,044,066	▲15,044,066
	運営費 (税込)	1,620	1,620
	前期債権繰越額	▲2,855	▲8,506
	振込手数料	0	69,012

* 対債権機関の機関数, NII の支払額には次期繰越分(6 機関, 347 円)が含まれています。

■ 平成 28 年度第 1 四半期 (平成 28 年 4 月～6 月)

- ・利用機関数：914
- ・処理対象 ILL レコード件数：154,189 (NACSIS-ILL 総レコード件数：166,337)

		対債務機関	対債権機関
機関数		516	398*
NII の請求額/支払額		19,960,879	▲14,002,461*
内 訳	相殺金額	16,623,858	▲16,623,858
	運営費 (税込)	3,337,200	2,579,040
	前期債権繰越額	▲179	▲168
	振込手数料	0	42,525

* 対債権機関の機関数, NII の支払額には次期繰越分(8 機関, 3,318 円)が含まれています。

(NACSIS-ILL 担当)

研修申込システムのリプレース

NACSIS-CAT/ILL ニュースレター42号でご案内しましたとおり、平成28年4月4日付で研修申込システムをリプレースし、URLが以下のとおり変更となりました。

URL : <https://edu.nii.ac.jp/>

リプレースに伴い、以下の機能・運用に変更があります。

- ・ “連絡担当者ID”の廃止
システムへのサインインは連絡担当者のメールアドレスとパスワードで行います。
- ・ “識別番号”の廃止
同機能の“識別コード”があらかじめ連絡担当者アカウントに付与されています。
- ・ 連絡担当者アカウントは1機関1つ
担当者が交代する場合には忘れずにアカウント情報を引き継いでください。
- ・ 推薦書の送付方法変更
推薦書を郵送いただく必要がなくなりました。システムから申し込みいただくことで、自動で研修担当に推薦書が送付されます。申込締切日厳守でお手続きください。
- ・ 選考結果の通知文書等の送付方法変更
事務効率化の都合により、選考結果の通知文書等の郵送を廃止しました。メールにて連絡担当者宛に送付しますので、各機関にてご判断のうえ、必要に応じて研修申込システム内で連絡担当者のメールアドレスの変更を行ってください。

平成27年度までに連絡担当者IDを取得済みの機関は登録情報を移行しています。但し、一定期間メールアドレスが無効で、申し込み履歴のないIDは移行対象外となっておりますので、連絡担当者より研修担当までメールにてご相談ください。

問い合わせ先：国立情報学研究所 研修担当 edu@nii.ac.jp

(研修担当)

